

先進の道路サービスへ 阪神高速グループ全体で 力を合わせて取り組んでいます

阪神高速では、阪神高速道路株式会社とそのグループ会社6社が阪神高速グループを構築し、グループ全体で道路サービス業務に携わっています。今回は、この阪神高速グループについてご紹介いたします。

1 なぜグループがあるの？

阪神高速の第一のミッションは、お客さまに安全・安心・快適に道路をご利用いただくことですが、特に安全・安心・快適の根幹にある日常管理においては、サービスレベルの向上とコストを抑えた効率的な管理を行うことが求められています。その責務を果たすため、阪神高速道路㈱と同等の技術・ノウハウを有し、理念・ビジョンを共有するパートナーである6社と「阪神高速グループ」を形成し、グループ全体で日常管理に取り組んでいます。

2 どんなグループ会社があるの？

阪神高速グループのグループ会社6社は、阪神高速道路㈱と資本関係を持つ連結子会社です。6社はお客さまの安全・安心・快適に直結する「保全点検」「維持修繕」「料金収受」「交通管理」、および道路関連事業に携わっています(左ページ参照)。

グループ会社6社が役割を分担することで、効率的に日常管理を行うことができ、それぞれが専門分野に特化することでサービスレベルを向上することに繋がっています。また、それぞれの業務を手掛ける中で技術やノウハウが蓄積され、さらにサービスレベルが上がっていくという良好なスパイラル効果も生まれており、現場の日常業務の中から新しい技術が生み出されるなどの成果も上がっています。

グループ会社がそれぞれの業務を担い、阪神高速の安全・安心・快適を支えているのです。

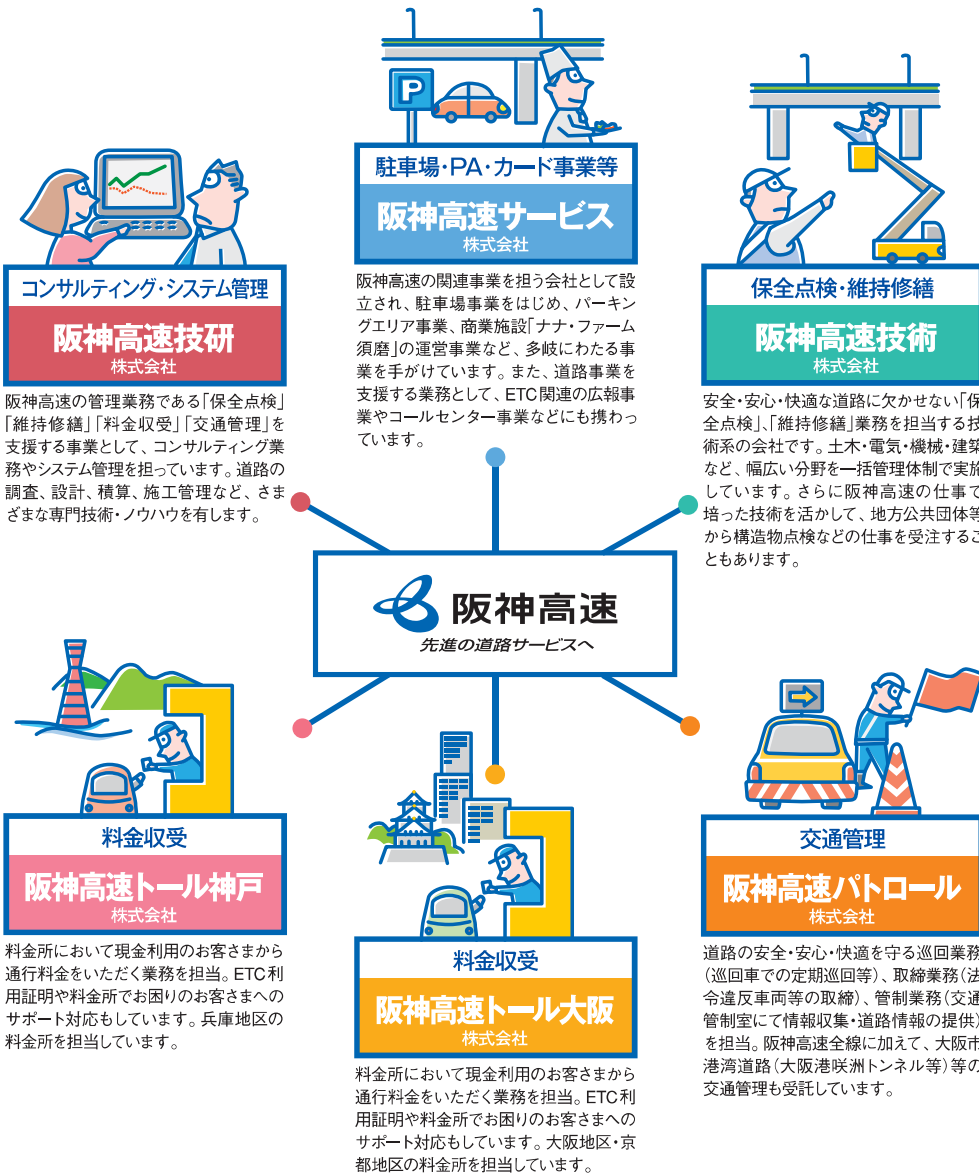
3 グループ会社全体の取り組みは？

グループ会社6社が担当の各業務を実施する一方、阪神高速道路㈱ではグループ会社が効率的な業務を行えるよう方針決定、計画策定、各種調整などのマネジメントに携わっています。

さらに阪神高速グループ全体で理念・ビジョンを共有して業務に取り組むためのグループガバナンスを構築しています。具体的には、阪神高速道路㈱とグループ各社間との経営計画の共有、人事交流、グループ全体での研修の実施など、さまざまな施策を行っています。それらを通して、阪神高速グループの社員全員が共通の理念・ビジョンを目指し、グループが一体であるという認識を持って仕事に取り組むように努めています。

阪神高速グループ理念 先進の道路サービスへ

阪神高速は、安全・安心・快適なネットワークを通じてお客さまの満足を実現し、関西のくらしや経済の発展に貢献します。



コンサルティング・システム管理
阪神高速技研
株式会社

阪神高速の管理業務である「保全点検」「維持修繕」「料金収受」「交通管理」を支援する事業として、コンサルティング業務やシステム管理を担っています。道路の調査、設計、積算、施工管理など、さまざまな専門技術・ノウハウを有します。

駐車場・PA・カード事業等
阪神高速サービス
株式会社

阪神高速の関連事業を担う会社として設立され、駐車場事業をはじめ、パーキングエリア事業、商業施設「ナナ・ファーム須磨」の運営事業など、多岐にわたる事業を手がけています。また、道路事業を支援する業務として、ETC関連の広報事業やコールセンター事業などにも携わっています。

保全点検・維持修繕
阪神高速技術
株式会社

安全・安心・快適な道路に欠かせない「保全点検」「維持修繕」業務を担当する技術系の会社です。土木・電気・機械・建築など、幅広い分野を一括管理体制で実施しています。さらに阪神高速の仕事で培った技術を活かして、地方公共団体等から構造点検などの仕事を受注することもあります。

料金収受
阪神高速トール神戸
株式会社

料金所において現金利用のお客さまから通行料金をいただく業務を担当。ETC利用証明や料金所でお困りのお客さまへのサポート対応もしています。兵庫地区の料金所を担当しています。

料金収受
阪神高速トール大阪
株式会社

料金所において現金利用のお客さまから通行料金をいただく業務を担当。ETC利用証明や料金所でお困りのお客さまへのサポート対応もしています。大阪地区・京都地区の料金所を担当しています。

交通管理
阪神高速パトロール
株式会社

道路の安全・安心・快適を守る巡回業務(巡回車での定期巡回等)、取締業務(法令違反車両等の取締)、管制業務(交通管制室にて情報収集・道路情報の提供)を担当。阪神高速全線に加えて、大阪市港湾道路(大阪港咲洲トンネル等)等の交通管理も受託しています。

阪神高速グループは、総力を挙げて取り組んでいきます。

阪神高速は今、二つの大きな事業を推進する転換期を迎えています。一つは淀川左岸線延伸部と大阪湾岸道路西伸部の新規路線建設事業、もう一つは老朽化した道路をつくりかえるリニューアル事業。どちらも長期間にわたる大きなプロジェクトであり、お客さまや地域の皆さまにできる限りご迷惑やご負担をおかけしないように事業を進めなければなりません。そのため、これまでも増して阪神高速道路㈱と日常管理を担うグループ会社とともに力を合わせる事が重要になります。阪神高速グループは、これからもグループ力を高め、日々の管理も大規模な事業も円滑に遂行できるよう総力を挙げて取り組んでまいります。



写真左より阪神高速道路株式会社 経営企画部 グループ経営推進課(兼)技術部 技術企画課 課長代理 岡崎 展也
経営企画部 グループ経営推進課 主任 西尾 美香